



片山土建、不動産のアットホーム、そして亜鳥舞(あどりぶ)というカフェの運営に携わっている片山俊介さん。

「東京から小矢部に戻って、まだ1年なんです。今は、営業と管理業務を行っています。」

ジャズとオーデイオが好き

No.97

亜鳥舞(あどりぶ) 片山 俊介



中学・高校時代は、ピートルズにハマっていたという片山さん。

「ジョンレノンが大好きでした。大学でもピートルズ研究会に入りたいと思っていたら、無かったです。そして、たまたまジャズに出会ったんです。」

この街で頑張る人、会社、団体を「人と人のつながり」で紹介していきます。



ひたすらジャズを集めるようになり、ジャズ喫茶にも通うようになった。「こつこつとお店がもし自分の住んでる環境にあつたら、もっと若い時期に変わっていたかも...」

確かに小矢部の街中に音が溢れるカフェがあれば、素敵なお店が生まれてたろう。

「中学時代に吹奏楽部に入りたかったけど、なんとなく踏み込めなかったそれが大人になってすぐ後悔しました。」

「ジャズの良さは、やっぱり自由ですね。僕は50年代、60年代のジャズしか聴きません。東京にいる時から、でっかいスピーカーで自分のお店で自分の好きな音楽を流したいということ漠然と思っていました。」

「若い頃は、地方から都会から世界に羽ばたくことが理想だと思っていました。でも、いつの間にかレールに乗っていることに気付いた。」



と父親が立てた建物で、ちよつと前の契約が切れたところでした。そして、今一緒にやっているシェアも同じタイミングで東京から小矢部に戻ってきた。「それならやってみよう！」と決まった。

現在32歳。

「正直小矢部に戻る気は全くなかった。それが、結婚して子供ができること見事に変わった。」

子供ができること「マンション買おうか」「軒家探そうか」と考える。なぜ東京で家を買って、永住するのだろうか...その問いに答えが見つかることができなかった。

そして、なぜ東京でサラリーマンをしてるんだろ...という疑問も生まれ、小矢部に戻ってもいいんじゃないかと思いはじめた。



Cafe Dining & Karaoke
亜鳥舞 (アドリブ)
〒932-0836 富山県小矢部市埴生56番地
TEL/FAX: 0766-67-2262
Email: cafediningadlib@gmail.com
<営業時間> ※火曜定休
月水木日 11:00~23:00 (LO 22:00)
金土 11:00~24:00 (LO 23:00)

「昔は親の会社に戻ることは甘えだと思っていた。でも今、地方の人口減等を考えると、地方に戻る方が困難なのではないか。そんな道もいいな。」

そう感じるようになって片山さん。

「子供の教育に力を入れても、都会に出てしまおう。地方の努力が都会に吸い取られるような仕組みを変えていきたい。」

なんだろうこの一極集中は...。東京で実感した率直な感想だ。

「ずっと地方と中央の間に問題意識をもっていた。大きなことはできないが、小矢部に戻ってきた。今の仕事がどこかでその問題とつながっている気がしています。」

片山さんの視線は、ずっと先を見つめている。

プレゼント



Jazzが流れる山カフェダイニングでゆっくり時間を過ごしてみませんか?

ソフトドリンク 5名様

募集期間：平成 24 年 10 月 22 日(月)まで
フェイスブックページのキャンペーンイベントに参加する、または「いいね!」ボタンを押すだけで応募できます。
[facebook.com/ELABO.LiTaOyabe](https://www.facebook.com/ELABO.LiTaOyabe)

都会にはない田舎のよさ再認識する時ですね。



しげるの一言